

防災まちづくりだより

令和3年9月 木崎自治協力会

日頃から木崎自治協力会の活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

皆さんご存じですか

私たちの住んでいるこの地域は、大規模地震時に火災が発生すると延焼が広がり、大きな被害が生じると想定されています。そのため、防災対策を重点的かつ優先的に推進する「推進地区候補」に指定されています。

推進地区候補は、市が平成27年8月に策定した『さいたま市防災都市づくり計画』に定められている①延焼リスクと②避難困難リスクの両方が重なる災害リスクが非常に高い地区のことです。具体的には、木造住宅が多く隣接し、道路幅が狭く、空地が少ない地域であることから火災が燃え広がりやすく、その上、建物の倒壊などで道路が塞がれて避難が困難になりやすい地区ということです。

このような評価結果に危機感を持ち、木崎自治会では、自主防災会、地元消防団等と協力して、防災や減災に向けた検討を始めました。

地域の災害リスクを知る。

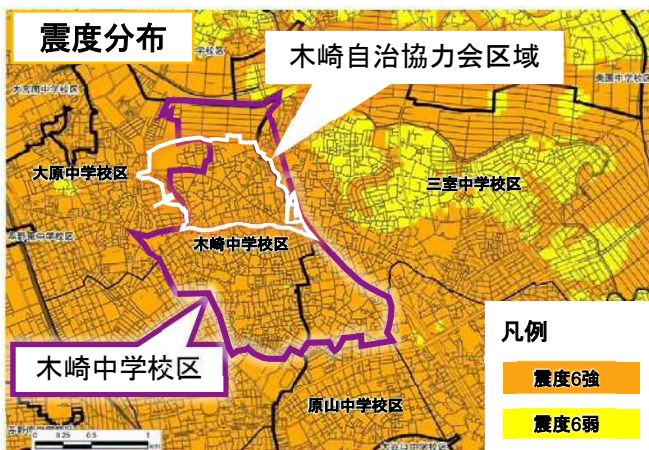
■被害想定：さいたま市直下地震（M7.3 最大震度6強）

さいたま市被害想定調査報告書（H26.3）より

結果概要

- ・冬18時の強風時にさいたま市直下地震が発生した場合に最も被害大
- ・地区のほぼ全ての建物が全壊・半壊の被害、地区の80%弱に当たる建物は焼失

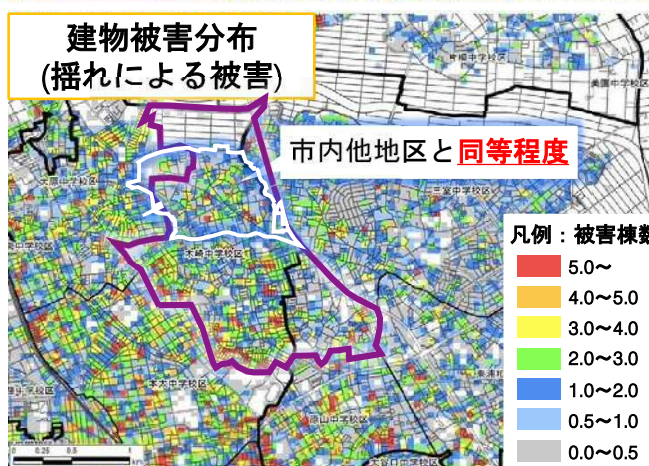
震度分布



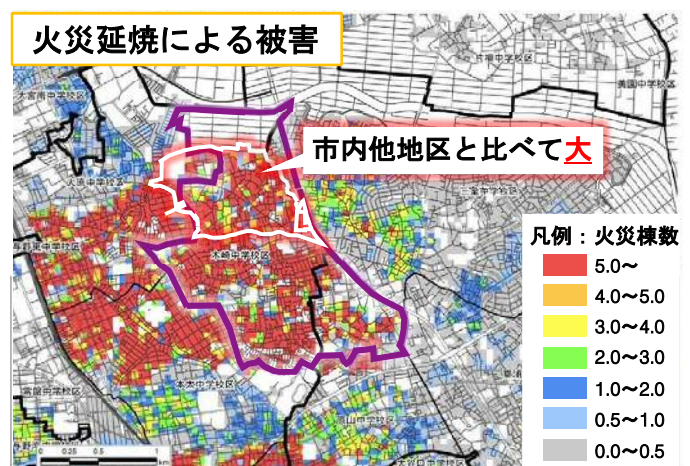
木崎中学校区内の被害想定

地震	さいたま市直下地震
最大震度	6強
最小震度	6弱
死者	184人 (0.6%)
負傷者	322人 (1.1%)
避難者	21,221人 (73.6%)
全壊建物棟数	6,977棟 (83.0%)
うち焼失棟数	6,538棟 (77.7%)
半壊建物棟数	1,347棟 (16.0%)

建物被害分布 (揺れによる被害)



火災延焼による被害

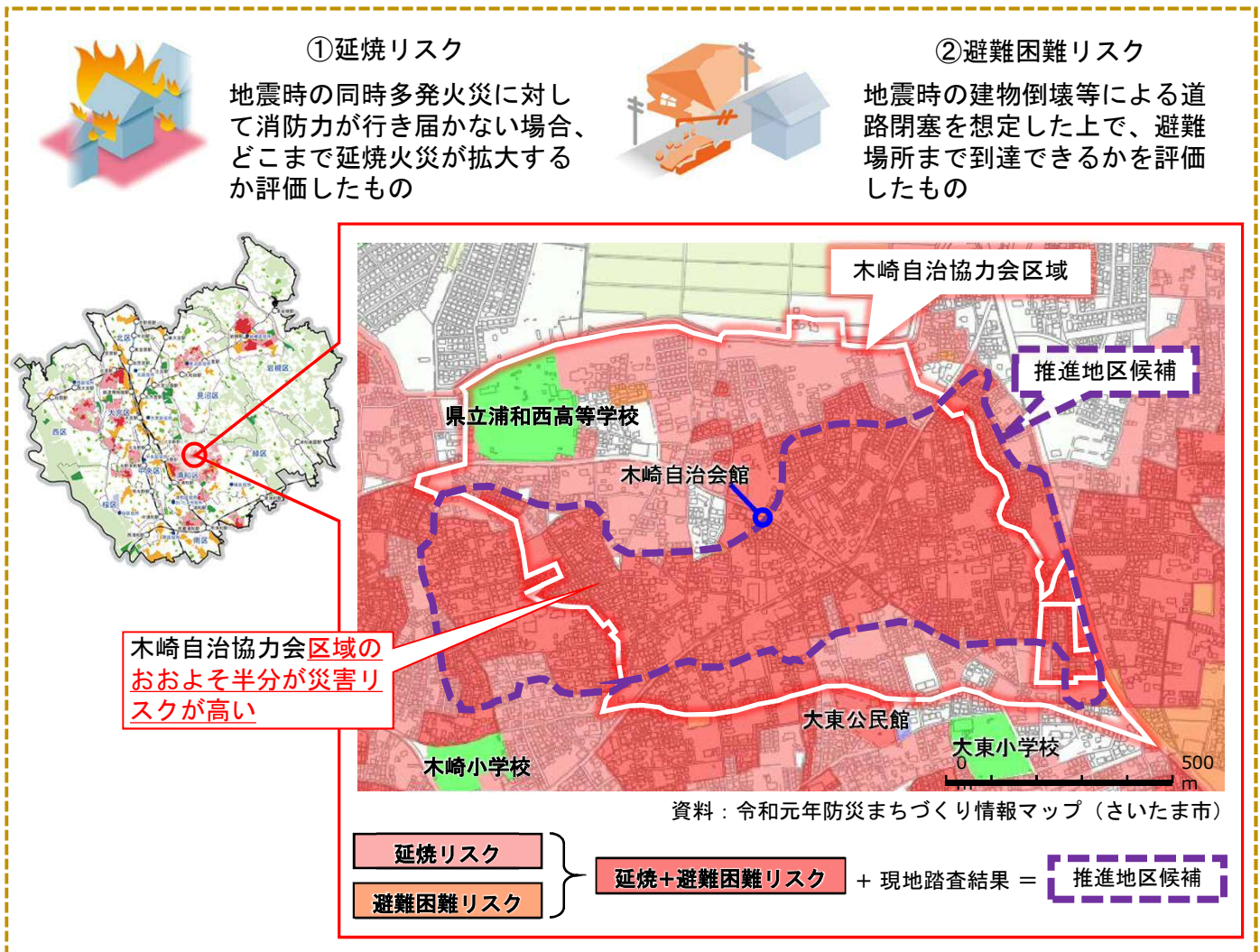


木崎地区の防災上の主なポイント

耐震化	多くの建物被害 ⇒ 建物の耐震化率を向上させることがポイント！
火災	火災焼失の危険性 ⇒ 避難や初期消火体制の強化、 <u>自主防災組織等</u> 、 <u>共助の活性化</u> がポイント！
避難	高い人口密度 ⇒ <u>円滑な避難誘導を実施</u> することがポイント！

■延焼リスク、避難困難リスクの評価結果

木崎自治協力会区域の半分以上が、①延焼リスクと②避難困難リスクの両方が重なる「推進地区候補」に指定されています。

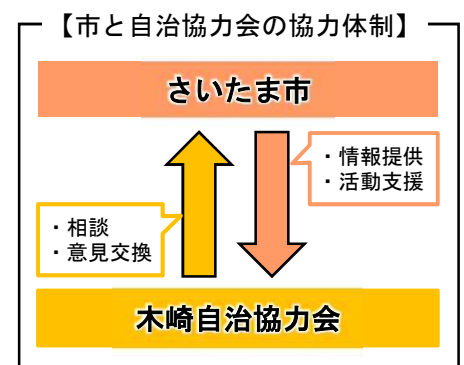


地域で備える。

■木崎自治協力会の今後の取組方針

- 1 減災のためのプロジェクトチーム（PT）の設置（R3年度）
- 2 市との協働

【地区への情報提供】	防災まちづく情報マップでの災害リスクの周知 など
【地区のまちづくり活動を後押し】	地区の課題抽出などを目的とした勉強会やまち歩き支援 など
- 3 木崎防災まちづくり計画の策定（R4年度予定） など



今後、災害リスクの低減に向けて、こういった取り組みをしていくか、地域の皆さんと一緒に考えていきますので、皆様のご協力をお願いします。